

1 多職種連携

- 1-1 統合失調症を有する頸髄症患者に対する応用行動分析学的介入
～コンプライアンスが不良であった一症例～
宗正 理恵（京都府 洛和会音羽リハビリテーション病院 理学療法士）
- 1-2 「食べたい」を支える多職種連携
水木 裕介（北海道 イムス札幌内科リハビリテーション病院 理学療法士）
- 1-3 FIM トイレ動作項目 5 点以上で退院するケースに関連が強い項目の探査
日野 祥悟（広島県 井野口病院 理学療法士）
- 1-4 褥瘡対策委員会の取り組みによる改善
田中 健志郎（福岡県 介護老人保健施設久英荘 作業療法士）
- 1-5 慢性期におけるリハ提供体制の取り組みにより ADL 改善がみられた症例
沖中 直子（東京都 みなみ野病院 作業療法士）
- 1-6 チームアプローチによる退院支援 ～アミロイドアングiopatchーによる脳葉型出血の症例～
杉本 彩（大阪府 バルピアノ病院 理学療法士）
- 1-7 多職種連携により起立動作と栄養状態の改善を認めた 70 歳代女性例
本間 奈央（東京都 鶴川サナトリウム病院 作業療法士）
- 1-8 回復期リハビリテーション病院における多職種で評価する自立度判定の現状と今後の課題
三輪 千尋（大阪府 千里リハビリテーション病院 作業療法士）
- 1-9 多職種連携セルケアシステムにおける協働リハビリの効果
熊本 基一（愛媛県 HITO 病院 理学療法士）
- 1-10 多職種連携により在宅退院が可能となった胃瘻患者
山下 愛茜（東京都 牧田総合病院蒲田分院 医師）
- 1-11 介護老人福祉施設における多職種連携の現状と課題
大澤 利通（福岡県 高良台シニアビレッジ 介護福祉士）
- 1-12 救急搬送を少なくするために 老健の多職種協働の強みを活かして
松本 久美（福岡県 介護老人保健施設久英荘 医師）
- 1-13 カンファレンスで共有すべきこと ～スタッフ・患者の行動変容～
藤田 康隆（福岡県 花畑病院 作業療法士）

2 脳血管疾患／高次脳機能障害

- 2-1 8か月の理学療法後、院内歩行自立に至った全身性エリテマトーデスを発病した慢性期脳出血患者
井上 友美（神奈川県 鶴巻温泉病院 理学療法士）
- 2-2 脳損傷者の実車運転可否と視覚探索の評価について
宮川 友輔（香川県 橋本病院 作業療法士）

- 2-3 慢性期脳卒中患者の経口摂取獲得における因子の検討
福田 真也（香川県 橋本病院 理学療法士）
- 2-4 当院におけるボツリヌス治療の取り組み
赤尾 淑子（福岡県 高良台リハビリテーション病院 理学療法士）
- 2-5 嘔吐症状が遷延化している小脳出血術後症例への前庭リハビリテーションの試み：症例報告
今野 真樹（東京都 多摩川病院 理学療法士）
- 2-6 くも膜下出血に延髄外側梗塞を併発し Lateropulsion を呈した症例
小林 采花（香川県 橋本病院 理学療法士）
- 2-7 足底圧力分布を用いた立位練習が歩行能力向上に寄与した一例
麻生 努（福岡県 聖マリアヘルスケアセンター 理学療法士）
- 2-8 後進歩行が脳血管疾患患者の姿勢制御に与える即時効果 ー前進歩行との比較ー
高橋 直子（千葉県 富家千葉病院 理学療法士）
- 2-9 主婦としての役割であった IADL 練習を用いて麻痺手の使用を促し家事再開に至った視床出血の一例
竹中 朋也（石川県 芳珠記念病院 作業療法士）
- 2-10 筋緊張亢進を呈し実用歩行の獲得に難渋した、右外側線条体動脈領域梗塞例に対する理学療法
山本 宏樹（大阪府 千里リハビリテーション病院 理学療法士）
- 2-11 脳卒中片麻痺一症例に対する機能的電気刺激療法を用いた治療効果
伊藤 彰良（茨城県 志村大宮病院・茨城北西総合リハビリテーションセンター 理学療法士）
- 2-12 ポリニューロパチーと高次脳機能障害を主症状とする ICU-acquired weakness (ICU-AW) 患者の
外来理学療法経験
小峰 智史（東京都 大久野病院 理学療法士）
- 2-13 動作指導を実施した事で ADL が改善した中心性頸髄損傷の一症例 ～入浴動作に着目して～
中津 健斗（広島県 アマノリハビリテーション病院 作業療法士）
- 2-14 歩行導入に対し動機付けに難渋した脳幹出血患者の理学療法の経験
梅村 龍之介（大阪府 千里リハビリテーション病院 理学療法士）
- 2-15 著しい姿勢定位障害を伴った左視床出血患者の理学療法経験
池田 竜也（大阪府 千里リハビリテーション病院 理学療法士）
- 2-16 整形疾患治療中に脳梗塞を発症した症例に対する長下肢装具の効果
西山 和輝（千葉県 印西総合病院 理学療法士）
- 2-17 小脳出血により CCAS を呈した症例に対する退院後環境設定の重要性
友池 理歌（福岡県 原病院 言語聴覚士）
- 2-18 右半球性言語異常に対するリハの効果：症例報告
玉井 貞好（徳島県 博愛記念病院 作業療法士）
- 2-19 その人らしさに着目して主体性を取り戻せた症例
林 広野（香川県 橋本病院 作業療法士）

2-20 超低強度運動による記憶力向上の検証

七谷 倫子（兵庫県 平成リハビリテーション専門学校 作業療法士）

2-21 左前頭葉腫瘍により高次脳機能障害を呈した症例への取り組み

～テーブル型リハビリ機器を活用した訓練～

松藤 沙織（福岡県 原病院 作業療法士）

2-22 観念運動失行を伴った慢性期失語症患者に対するジェスチャー訓練の試み

菅原 光晴（神奈川県 ふじの温泉病院 作業療法士）

3 運動器疾患

3-1 健常者と頸部痛者のVDT作業における頭部・胸部制御の相違

山崎 博喜（福岡県 原病院 理学療法士）

3-2 歩行獲得に難渋した大腿骨ステム周囲骨折の一症例 ～予後予測の一助として～

庄司 理沙子（北海道 イムス札幌内科リハビリテーション病院 理学療法士）

3-3 運動器疾患患者における認知機能の低下が疼痛の改善と在院日数に与える影響

加長川 直（大阪府 堺平成病院 理学療法士）

3-4 当院における慢性腰痛患者の就労に向けた入院型ペインマネジメントプログラム

二瓶 健司（福島県 星総合病院 理学療法士）

3-5 心疾患を伴う大腿骨骨折患者におけるアウトカムの比較

後藤 康平（大阪府 岸和田平成病院 理学療法士）

3-6 下垂足を呈した高齢者に低周波治療を行い機能改善が得られた症例

山本 達郎（静岡県 東名裾野病院 理学療法士）

3-7 関節リウマチ患者におけるサルコペニアと骨粗鬆症の関連について

梅木 仁美（岡山県 倉敷スイートホスピタル 理学療法士）

4 心大血管／呼吸器疾患／廃用症候群

4-1 必要栄養量を考慮し運動負荷量の調節を行った結果、離床時間が延長した慢性心不全患者の1例

米光 勇氣（大阪府 泉佐野優人会病院 理学療法士）

4-2 高齢の重症心不全患者の想いに対し医師と密な連携をとりながら介入を行った経験

泉 真里菜（石川県 芳珠記念病院 理学療法士）

4-3 体位性低酸血症（Platynea-Orthodeoxia 症候群）に気づきリハビリテーションの進行が遅延なく行えた1症例

橋本 修（福岡県 高良台リハビリテーション病院 医師）

- 4-4 人工呼吸器管理の肥満の患者に対し、積極的な離床、活動量の向上を進めウィーニング・減量に至った症例
佐藤 芳風（東京都 相武病院 理学療法士）
- 4-5 肺高血圧症患者に対する呼吸リハビリテーション ―酸素療法についての患者指導・教育―
石本 恭太（愛知県 小林記念病院 理学療法士）
- 4-6 廃用症候群を呈した高齢者の舌圧と握力、食事形態の関連性
山内 梨央（大阪府 堺平成病院 理学療法士）
- 4-7 急性大動脈解離術後の併存症により重度廃用症候群に陥った症例に対するアプローチ
辻 素直（大阪府 千里リハビリテーション病院 理学療法士）

5 難病／障害者・児

- 5-1 QOL 維持を見据えて意思伝達機器の導入を検討した多系統萎縮症患者 1 症例
鈴木 啓介（東京都 平成扇病院 理学療法士）
- 5-2 当院パーキンソン病患者の入院期間の違いが転帰に及ぼす影響
上田 萌（熊本県 水前寺とうや病院 理学療法士）
- 5-3 球麻痺症状を呈した ALS 患者に対し非能動型呼吸運動訓練装置 LIC TRAINER にて歩行距離の改善がみられた症例
伊東 麻衣（東京都 永生病院 理学療法士）
- 5-4 当院一般病棟入院患者における褥瘡発生要因とブレードンスケールの関連について
武内 俊憲（愛媛県 松山リハビリテーション病院 作業療法士）
- 5-5 重症心身障害児（者）施設に適した食事形態の検討
細田 美佳（東京都 緑成会整育園 言語聴覚士）
- 5-6 医ケア児と暮らす家族の第二子里帰り出産の支援について
佐藤 峻（福島県 星総合病院 理学療法士）
- 5-7 当院リハビリテーション科における障がい者支援
山路 勇太（三重県 花の丘病院 理学療法士）

6 摂食嚥下／言語障害

- 6-1 理学療法士として体幹機能にアプローチした結果 3 食経口摂取となった脳血管症例
得田 雄誠（静岡県 熱川温泉病院 理学療法士）
- 6-2 胃瘻造設を拒否した進行性格上性麻痺による中等度嚥下障害患者の経口摂取を包括的に支援した一例
森脇 美早（大阪府 淀川平成病院 医師）
- 6-3 患者の QOL を考慮した食支援 ～KT バランスチャートを取り入れた関わり～
亀井 肇（香川県 橋本病院 看護師）

- 6-4 胃瘻栄養から3食経口摂取へ移行し胃瘻閉鎖に至った1症例
久保 翔平 (徳島県 博愛記念病院 言語聴覚士)
- 6-5 アルツハイマー型認知症を一因として摂食障害を呈した一症例への食支援
～KTBCを用いたアセスメント～
樺山 翔太 (鹿児島県 田上記念病院 言語聴覚士)
- 6-6 加糖したゼリーで嚥下機能及び経口摂取量の向上を目指した取り組み (第3報)
武田 止揚 (大阪府 平成記念病院 言語聴覚士)
- 6-7 右視床出血発症後、長期間の代替栄養を経て、3食経口摂取が可能となった70歳代女性例
日下 文香 (東京都 鶴川サナトリウム病院 言語聴覚士)
- 6-8 慢性期病院退院患者における嚥下グレードの調査
竹下 知 (北海道 札幌西円山病院 言語聴覚士)
- 6-9 嚥下調整食に比べて普通食の方が誤嚥徴候が少なかった症例
佐野 直哉 (北海道 札幌西円山病院 言語聴覚士)
- 6-10 入院時FOISによる摂食嚥下機能障害患者の退院予測に関する検討
坂田 華佳 (兵庫県 園田病院 言語聴覚士)
- 6-11 嚥下障害患者の評価と介入に関する臨床知識の構造化
－当法人における検証の実施報告と今後の展望に関して－
宮脇 一紀 (東京都 大久野病院 言語聴覚士)
- 6-12 食形態変更に伴う摂取量の変化
西本 佳歩 (埼玉県 富家病院 言語聴覚士)
- 6-13 嚥下障害者の誤嚥リスク低減を目的とした福祉用具の利用と有用性について
－食事量及び食事時間からの検討－
小川 けい (兵庫県 平成病院 言語聴覚士)
- 6-14 頸部後屈位での臥床時の体位の違いが随意的咳嗽力に及ぼす影響
須谷 憩 (大阪府 弥刀中央病院 理学療法士)
- 6-15 回復期リハビリテーション病院での摂食嚥下リハビリテーションに関する歯科医師および歯科衛生士の役割
道津 友里子 (福岡県 高良台リハビリテーション病院 歯科医師)
- 6-16 人工呼吸器装着患者へ発声補助具導入することでQOLが向上した症例
澤近 司 (大阪府 茨木医誠会病院 言語聴覚士)
- 6-17 LINEの導入により言語機能の向上を認めた皮質下性失語症例
村上 亜貴 (福岡県 聖マリアヘルスケアセンター 言語聴覚士)
- 6-18 声の能率指数を用いた仰臥位姿勢における発声訓練の有効性の検証
山元 絢 (兵庫県 平成リハビリテーション専門学校 言語聴覚士)
- 6-19 舌圧と握力および肩甲骨のアライメントが食事形態に与える影響
澤田 優莉花 (兵庫県 南淡路病院 言語聴覚士)

7 認知症

- 7-1 認知症のある高齢者への院内デイの即時効果の検討 ―活動前後での心理状態の評価から―
齋藤 未玖（群馬県 内田病院 作業療法士）
- 7-2 当院入院患者におけるサルコペニアおよびダイナペニアと認知機能との関連性
森川 俊哉（北海道 札幌ひばりが丘病院 理学療法士）
- 7-3 認知症専門病棟入所者における BPSD に対するアロマセラピーの有効性
森本 沙織（岡山県 介護老人保健施設福寿荘 作業療法士）
- 7-4 転倒と身体拘束を繰り返すレビー小体型認知症患者に対するリハビリテーション
西川 京佑（東京都 大内病院 作業療法士）
- 7-5 主訴表出の可否が認知機能と ADL に及ぼす影響
遠山 裕也（群馬県 西毛病院 理学療法士）
- 7-6 演題取り下げ
- 7-7 重度認知症患者に対する化粧療法 ～意欲の向上と習慣の再構築が見られた事例～
大和田 美紀（東京都 鶴川サナトリウム病院 作業療法士）
- 7-8 肯定的なフィードバックによってリハ意欲の向上が認められた一例
占部 夏美（東京都 南多摩病院 作業療法士）
- 7-9 施設入居者における日光浴を伴う離床活動と夜間の不眠症状との関連性
定 桂大（兵庫県 特別養護老人ホームかおりの丘 作業療法士）
- 7-10 行動・心理症状（BPSD）を認めた回復期病棟入院患者に対する集団リハビリテーションの効果検証
今東 裕二（兵庫県 西宮回生病院 作業療法士）
- 7-11 いざり動作による移乗方法に変更したことで易怒性が軽減した認知症患者
鈴木 千晴（奈良県 秋津鴻池病院 理学療法士）
- 7-12 帰宅願望スケールによる評価とマニュアルに沿った対応は、認知症の方の帰宅願望行動の減少に繋がるか？
新谷 夏海（群馬県 介護老人保健施設大誠苑 介護福祉士）
- 7-13 当院地域包括ケア病棟における認知症患者に対するリハビリテーション職の取り組み
石井 朱璃（埼玉県 富家病院 理学療法士）
- 7-14 認知症入院患者との化粧療法 ～化粧の前後でのアンケートから見た心理変化～
齊藤 雪子（東京都 鶴川サナトリウム病院 作業療法士）
- 7-15 重度認知症者における Quality of Life の継時的変化の検討
永田 優馬（大阪府 大阪大学大学院医学系研究科 作業療法士）
- 7-16 精神科集団作業療法プログラムへの笑いヨガの導入 ～当院認知症治療病棟での取り組み～
部谷 ゆん（東京都 鶴川サナトリウム病院 作業療法士）
- 7-17 当院におけるリハ職としての早朝での関わりについての効果 ―食事自己摂取量の増加を目指して―
池田 亜沙美（東京都 鶴川サナトリウム病院 理学療法士）

8 がん／終末期

8-1 療養病床におけるがんリハビリテーションの現状と課題

寺田 菜摘（兵庫県 園田病院 理学療法士）

8-2 終末期がん患者の「がんのリハビリテーション」における一考察

満谷 謙一（福岡県 弥永協立病院 理学療法士）

8-3 多発転移性脊椎腫瘍患者の終末期における理学療法士の役割

清水 聡史（福岡県 北九州若杉病院 理学療法士）

8-4 軽費老人ホームにてターミナルケアの経験を得た一事例

大石 恵美子（福岡県 軽費老人ホームゆのそ苑 介護福祉士）

8-5 知的障害のある終末期患者に対し具体的な意志表出を促し希望に向けて他職種と共働した事例

菊田 唯人（宮城県 石巻健育会病院 作業療法士）

8-6 末期の心不全患者に対する終末期リハビリテーションと作業療法

平嶋 千晃（熊本県 阿蘇温泉病院 作業療法士）

9 生活期

9-1 通所介護を利用する高齢血液透析患者への運動介入効果

前田 浩太郎（神奈川県 介護老人福祉施設ヴィラ南本宿 理学療法士）

9-2 グループホームにおける生活機能向上に関する取り組みについて

池尻 託巳（福岡県 若久園グループホーム 介護福祉士）

9-3 2型糖尿病患者における運動習慣の意向と運動を促進・阻害する要因との関連について

杉野 真一（岡山県 玉野市立玉野市民病院 理学療法士）

9-4 特別養護老人ホームにおける集団体操の規模と参加率について

古明地 寛之（東京都 ケアホーム板橋 作業療法士）

9-5 肺切除術後に呼吸不全を呈し半年経過した患者の HRQOL に着目し外来リハビリテーションを提供した1症例

村松 優仁（静岡県 すずかけヘルスケアホスピタル 理学療法士）

9-6 自宅退院患者の追跡調査 一病前より生活範囲拡大を目指した一症例

小松 広明（東京都 緑成会病院 理学療法士）

9-7 小柄女性介助者の移乗介助量軽減が図れた理由検討

北 真菜美（兵庫県 介護老人保健施設ヴィラ光陽 理学療法士）

9-8 患者の反応を引き出すための NIRS（光トポグラフィ）の活用

近藤 剛（埼玉県 霞ヶ関南病院 理学療法士）

10 排泄

- 10-1 重度片麻痺を呈した症例の排泄動作獲得に向けて ～課題指向型アプローチ「ペタンク」を用いて～
森永 明日香（香川県 橋本病院 作業療法士）
- 10-2 下衣形態非改善要因についての検討 ～認知機能との関連について～
桑原 威彦（山口県 山口平成病院 作業療法士）
- 10-3 トイレでの排泄動作を可能にするための補助具の検討
二見 邦彦（東京都 介護老人福祉施設藤香苑 作業療法士）
- 10-4 夜尿症患者に対する超音波エコーを使用した骨盤底筋群訓練のホームワーク指導した効果
越野 慎二（兵庫県 西宮回生病院 理学療法士）
- 10-5 デイケアにおける排泄リハビリの取り組み
三木 健正（群馬県 介護老人保健施設たまむら 理学療法士）
- 10-6 膀胱留置カテーテル抜去に向けた取り組みと成果 ～膀胱留置カテーテル抜去プログラムに沿って～
田中 寿昌（香川県 橋本病院 看護師）

11 医師／看護／介護

- 11-1 介護老人福祉施設における胆石症の検討
佐藤 一也（福岡県 久英会クリニック 医師）
- 11-2 回復期リハビリテーション病院に総合診療医の必要性が考えられた成人 Still 病の一例
橋本 修（福岡県 高良台リハビリテーション病院 医師）
- 11-3 構音障害、左顔面麻痺、口腔周囲の過敏により口腔ケアを拒否する患者に対する看護介入の効果
後藤 佳子（福岡県 聖マリアヘルスケアセンター 看護師）
- 11-4 自尊心が低下したギラン・バレー症候群の患者に対する看護介入の一考察
石本 彩実（福岡県 聖マリアヘルスケアセンター 看護師）
- 11-5 服薬自己管理が必要な患者に対するアセスメントシートの活用方法と介入方法
ーテーラーメイドケアを目指してー
重井 杏奈（福岡県 高良台リハビリテーション病院 看護師）
- 11-6 モジュール型プライマリーナーシングとケースカンファレンスを導入することによる効果
井坂 幸江（東京都 牧田総合病院蒲田分院 看護師）
- 11-7 アセスメントシートを活用した、転倒・転落リスクの可視化へむけて
今村 竜輔（福岡県 高良台リハビリテーション病院 看護師）
- 11-8 当院の褥瘡発生状況と今後の対策
服部 志保（埼玉県 霞ヶ関南病院 看護師）
- 11-9 演題取り下げ

- 11-10 抱え上げる移乗に伴う介護負担と利用者の受傷リスク軽減に向けて ～フレックスボードの検証～
江口 智則（福岡県 特別養護老人ホーム若久園 作業療法士）
- 11-11 介護職員の業務ストレスに関する調査
田嶋 駿一（福岡県 高良台リハビリテーション病院 介護福祉士）
- 11-12 介護過程の展開方法 ～アンケート調査から見えてくるもの～
元村 泰祥（福岡県 高良台リハビリテーション病院 介護福祉士）

12 栄養／薬剤／歯科・口腔ケア

- 12-1 栄養委員会による誤嚥性肺炎予防と経口摂取維持 ～ミールラウンドを見直して～
中島 文亮（福岡県 特別養護老人ホーム若久園 介護福祉士）
- 12-2 摂食障害のある墜落外傷患者に対する栄養と負荷量の報告
吉田 美寿希（東京都 平成扇病院 理学療法士）
- 12-3 InBody 測定における体水分均衡と Phase Angle の重要性
ー筋肉量、体水分量、栄養データとの関係性の検討ー
井上 勇弥（群馬県 内田病院 理学療法士）
- 12-4 当院リハ職に対するリハ栄養浸透に向けた取り組み ー栄養科と連携した活動ー
三鬼 彩歌（三重県 花の丘病院 理学療法士）
- 12-5 「これが食べたい」を叶える食事の提供 ～嗜好調査の結果を通して～
高橋 花菜（埼玉県 霞ヶ関南病院 管理栄養士）
- 12-6 回復期リハビリテーション病棟患者の FIM 利得は栄養状態の影響を受けるか
有川 瑛人（鹿児島県 加治木温泉病院 言語聴覚士）
- 12-7 短腸症候群を有した重度低栄養患者に対する栄養状態ならびにエネルギーバランスを指標とした運動療法の効果
郷上 東（神奈川県 鶴巻温泉病院 理学療法士）
- 12-8 糖尿病を有する回復期リハビリテーション病院入院患者の適正栄養量の検討
亀井 こずえ（大阪府 千里リハビリテーション病院 管理栄養士）
- 12-9 回復期リハビリテーション病院における入院時栄養スクリーニング法の検討
岩崎 祐（大阪府 千里リハビリテーション病院 管理栄養士）
- 12-10 リハビリテーション病院における入院時栄養状態の経時変化
桜井 史明（大阪府 千里リハビリテーション病院 管理栄養士）
- 12-11 回復期リハビリテーション病棟入院時の栄養状態と退院先、及び入院中の体重増加と退院先の関連性
牛島 綾子（福岡県 高良台リハビリテーション病院 管理栄養士）
- 12-12 CV ポートを導入し、全身状態が回復した一症例
中山 宏美（福岡県 高良台リハビリテーション病院 管理栄養士）

12-13 適切な栄養管理による排便習慣の獲得

野口 雅也（福岡県 高良台シニアビレッジ 介護福祉士）

12-14 適切な薬物治療のためのポリファーマシー改善に向けた取り組み

大岩 美穂（鹿児島県 加治木温泉病院 薬剤師）

12-15 当院回復期リハビリテーション病棟における義歯の適合と関連するデータの分析

河本 祐貴（徳島県 江藤病院 言語聴覚士）

12-16 特養利用者の口腔環境から考えた独自のプロトコール作成に向けて

～改善に向けた連携と今後の課題～

秋吉 知美（福岡県 特別養護老人ホーム若久園 歯科衛生士）

12-17 保湿スプレーが療養病棟患者の舌乾燥に及ぼす影響 ～夜間の使用時間を比較して～

大山 夕佳（東京都 牧田総合病院蒲田分院 看護師）

12-18 当院における口腔健康管理の取り組み

石田 友子（大阪府 千里リハビリテーション病院 歯科衛生士）

12-19 歯科衛生士のリハビリテーションを主体とする病棟への配置の必要性：症例報告

神田 紀子（大阪府 淀川平成病院 歯科衛生士）

13 新型コロナウイルス

13-1 コロナ禍の面会禁止に対するSTの取り組み

高橋 彩香（埼玉県 平成の森・川島病院 言語聴覚士）

13-2 デイケアにおける新型コロナウイルス感染拡大防止の臨時措置を活用した一例

佐藤 恵理（群馬県 介護老人保健施設たまむら 理学療法士）

13-3 コロナ禍における失語症患者に対するスマートフォン利用支援

久田 路子（福岡県 有吉病院 言語聴覚士）

13-4 医工連携による流体解析シミュレーションを用いたリハビリ室内の換気と冷房の改善

鈴木 裕一（愛媛県 松山リハビリテーション病院 理学療法士）

13-5 3Dプリンタを活用したPPEの作製 ～当院におけるPPE不足対策について～

川原 翔太（鹿児島県 加治木温泉病院 放射線技師）

13-6 コロナウィルスの感染拡大により訪問看護サービスの利用を中断した利用者の傾向

大久保 雅人（東京都 世田谷記念病院訪問ステーションてとと大岡山 理学療法士）

13-7 回復期リハビリテーション病院における新型コロナウイルス感染症への取組

佐々木 雅子（大阪府 千里リハビリテーション病院 看護師）

14 リハビリ機器／義肢・装具

- 14-1 両側人工股関節全置換術に対してホンダ歩行アシストを使用し、歩行能力の向上と早期自宅退院を目指した症例
 浜中 貢輔（徳島県 徳島平成病院 理学療法士）
- 14-2 下肢免荷期間のあった症例の歩容改善の為、HONDA 歩行アシストを使用した効果
 湯浅 雅史（徳島県 江藤病院 理学療法士）
- 14-3 認知症を合併する高齢者に対する HAL 腰タイプの歩行改善効果の検討
 瀬間 将太（群馬県 内田病院 理学療法士）
- 14-4 パーキンソン病歩行障害への HONDA アシストによる理学療法の有効性
 河合 優子（東京都 緑成会病院 理学療法士）
- 14-5 非代償性肝硬変患者に Honda 歩行アシストを使用した一症例
 東郷 護靖（大阪府 淀川平成病院 理学療法士）
- 14-6 ロボットスーツ HAL[®]、免荷リフトを使用した立ち上がり訓練の効果：症例報告
 川上 拓哉（大阪府 豊中平成病院 理学療法士）
- 14-7 ウェルウォークを使用した歩行練習がトイレ移乗・トイレ動作に及ぼす影響
 ～ FIM を用いた検討～
 川口 卓也（福岡県 高良台リハビリテーション病院 理学療法士）
- 14-8 運動学習に対する認知機能の影響 ～ウェルウォークを用いた検討～
 寺垣 ちなつ（福岡県 高良台リハビリテーション病院 理学療法士）
- 14-9 ウェルウォークを用いた歩行能力の改善に及ぼす因子 ～認知機能の影響～
 福成 聖也（福岡県 高良台リハビリテーション病院 理学療法士）
- 14-10 CoCoroeAR2 と電気刺激療法の併用による効果：症例報告
 船山 玲（東京都 緑成会病院 作業療法士）
- 14-11 全身振動刺激を用いたトレーニングによる体幹・下肢骨格筋量への効果
 古賀 俊貴（福岡県 高良台リハビリテーション病院 作業療法士）
- 14-12 全身振動刺激を用いたトレーニングが下肢筋力へ及ぼす影響 ～握力と下肢筋力の関係～
 古賀 俊貴（福岡県 高良台リハビリテーション病院 作業療法士）
- 14-13 重度内反尖足に対し、金属支柱付き短下肢装具の調整により活動量向上に繋がった症例
 森 拓人（香川県 橋本病院 理学療法士）
- 14-14 右脛骨列欠損による小児大腿切断の一症例 ～外来理学療法を行う上で生じた問題とその対応～
 山本 恵子（広島県 アマノリハビリテーション病院 理学療法士）
- 14-15 産学医連携モデルによる脳卒中後の麻痺側上肢浮腫改善機器の開発と使用性の評価
 星川 侑輝（愛媛県 松山リハビリテーション病院 作業療法士）
- 14-16 車椅子駆動において片側タイヤの空気圧の減圧が与える影響
 坂上 明規（大阪府 弥刀中央病院 理学療法士）

15 退院支援／ソーシャルワーク

- 15-1 どのようなタイミングで誰と密な医療連携を図るべきか —パーキンソン病を呈する症例を通して—
野嵩 周平（福岡県 柳病院 理学療法士）
- 15-2 脳血管疾患患者における当院の家屋調査の実態 ～家屋改修の傾向と退院時 FIM への影響～
沼田 雄輝（広島県 井野口病院 理学療法士）
- 15-3 セラピストによる顔の見える連携の取り組み ～多施設・多職種間の連携アプローチ～
中富 翔（福岡県 八女リハビリ病院 理学療法士）
- 15-4 ICT の活用により自宅復帰に向けた連携を再考した一例
森 裕紀（愛媛県 HITO 病院 理学療法士）
- 15-5 意欲・活動性が減退した筋強直性ジストロフィー患者に対し ADL と心理的側面に焦点を当てて介入した一症例
今村 安優（広島県 アマノリハビリテーション病院 作業療法士）
- 15-6 チーム医療における MSW の役割
加藤 静恵（北海道 札幌西円山病院 ソーシャルワーカー）

16 介護予防／在宅支援／地域活動

- 16-1 デイサービス利用者における最大一歩の見積もり誤差と転倒の関連性
大宮 隼一（東京都 多摩川病院 理学療法士）
- 16-2 機能訓練特化型デイサービスでの個別リハビリテーションは歩行・バランス能力の維持・向上させる
岩本 妃代里（東京都 多摩川病院 理学療法士）
- 16-3 八王子地域における嚥下調整食一覧表作成の取り組み
—アンケート調査による実態把握と今後の展開について—
白波瀬 元道（東京都 永生病院 言語聴覚士）
- 16-4 ～地域住民と協力し合える関係作りの構築を目指して～ 地域課題に向けた取り組み
宮野 一也（福岡県 高良台リハビリテーション病院 作業療法士）
- 16-5 介護技術評価票を用いた家族指導が自宅退院を可能とした脳梗塞の一例
横町 知樹（福岡県 聖マリアヘルスケアセンター 理学療法士）
- 16-6 多様なツールを利用してコミュニケーションの向上が図れた筋萎縮性側索硬化症患者の一症例
吉本 彩乃（広島県 アマノリハビリテーション病院 作業療法士）
- 16-7 在宅生活者と施設入居者のいき百の効果について
藤本 智也（奈良県 奈良東病院 作業療法士）
- 16-8 通所 C 事業利用者の口腔機能と運動機能の関連性
中村 真紀（熊本県 阿蘇温泉病院 理学療法士）

- 16-9 甲佐町の介護予防・日常生活支援総合事業「通所 C」実践報告
地域包括支援センターとリハ専門職の協働作業
仙頭 城二（熊本県 谷田病院 理学療法士）
- 16-10 看多機 利用者に対する生活の質の評価
～右片麻痺と手指神経障害を有する利用者へのサービス介入～
横山 かよ（福岡県 ゆのそピア 看護師）
- 16-11 「自分らしく、共に歩もう！」～多職種で関わるイベント・外出支援～
日下 美幸（鳥取県 養和病院通所リハビリテーションセンターかみごとう 理学療法士）
- 16-12 事業対象者・要支援者の 10m 歩行・Timed up & go test の改善と自宅生活状況の関連
西東 将吾（石川県 共生型福祉施設 G-Hills デイサービス零 理学療法士）

17 回復期リハ病棟

- 17-1 回復期リハビリ病棟運動器疾患患者の在院日数別実績指数と、FIM 利得に関する報告：後ろ向きコホート研究
柳川 大悟（神奈川県 平成横浜病院 理学療法士）
- 17-2 当院回復期リハビリテーション病棟入院料の除外対象項目と実績指数に関する報告：後ろ向きコホート研究
田嶋 和也（神奈川県 平成横浜病院 理学療法士）
- 17-3 患者参加型カンファレンスでの目標共有が ADL 向上に有効となった一症例
佐藤 加奈（福岡県 聖マリアヘルスケアセンター 作業療法士）
- 17-4 療養病棟を経由した回復期リハビリがフレイル・要介護状態にある患者の FIM 利得に与える影響について
上蘭 裕二（鹿児島県 中江病院 作業療法士）
- 17-5 回復期病棟における入院時非サルコペニア患者の退院時の骨格筋量増減と離床時間および栄養状態の相関
岡部 友紀（兵庫県 神戸平成病院 理学療法士）
- 17-6 回復期リハビリテーション病棟における退院時骨格筋指数低下要因の調査
佐々木 恭介（東京都 多摩川病院 理学療法士）
- 17-7 当院回復期リハビリテーション病棟入院患者の ADL 改善に影響を及ぼす因子
尾張 剛（千葉県 印西総合病院 理学療法士）
- 17-8 当院回復期病棟における運動 FIM 実績指数低値を示す患者の特徴について
宮澤 亜紀（北海道 イムス札幌内科リハビリテーション病院 理学療法士）
- 17-9 右視床出血を呈した重度片麻痺患者が在宅復帰に繋がった一例 ～トイレ動作に着目して～
内村 聡志（福岡県 丸山病院 作業療法士）

- 17-10 回復期リハビリテーション病棟における住環境整備の提案は十分か
閑野 智（群馬県 美原記念病院 理学療法士）
- 17-11 回復期リハビリテーション病棟退棟時における phase angle に影響を及ぼす FIM 項目の検討
竹本 あやの（徳島県 博愛記念病院 理学療法士）
- 17-12 伝わるデモンストレーションを目指して <排泄支援チームと連携した移乗介助方法の伝達>
若松 雅樹（北海道 イムス札幌内科リハビリテーション病院 理学療法士）
- 17-13 回復期リハビリテーション病棟における患者の所在確認方法の検討 ～行動計画表を活用して～
河村 春代（山口県 周南リハビリテーション病院 看護師）
- 17-14 回復期リハ病棟開設に向けた取り組みと今後の課題 ー看護師の経歴から今後の取り組みを考えるー
工藤 知花（大阪府 淀川平成病院 看護師）
- 17-15 当院回復期リハビリテーション病棟入院患者におけるサルコペニア重症度と栄養指標との関連性
福井 竜馬（兵庫県 東浦平成病院 作業療法士）
- 17-16 回復期リハビリテーションにおける実績指数に影響を与える因子
鹿内 大輝（千葉県 印西総合病院 理学療法士）
- 17-17 回復期リハビリテーションの若年脳卒中者に対する職場復帰の実践例
田村 哲也（大阪府 千里リハビリテーション病院 理学療法士）
- 17-18 回復期病棟でのアウトカム評価への取り組み
大平 清貴（熊本県 水前寺とうや病院 理学療法士）
- 17-19 当院回復期リハビリテーション病棟における SIDE の臨床的妥当性の検証
桂川 遥（北海道 札幌西円山病院 理学療法士）
- 17-20 回復期リハビリテーション病棟における脳血管疾患患者の入棟時 FIM と転倒の関係性
粟飯原 啓司（兵庫県 東浦平成病院 理学療法士）
- 17-21 車いす選定における当院の取り組み ～速やかな退院支援に向けて～
上田 紋衣（埼玉県 富家病院 作業療法士）
- 17-22 回復期リハビリ病棟に入院した糖尿病患者のアウトカム調査 ～筋肉量の増減による検討～
二股 弘樹（愛知県 小林記念病院 理学療法士）
- 17-23 立位バランスおよび注意機能はトイレ動作自立に相関する
長谷 洸希（大阪府 岸和田平成病院 作業療法士）
- 17-24 当院回復期リハビリテーション病棟における褥瘡リスクのある患者の褥瘡発生状況と FIM の関連
上間 航之介（沖縄県 宜野湾記念病院 理学療法士）

18 地域包括ケア病棟／療養病棟／介護医療院

- 18-1 当院地域包括ケア病棟における個別リハビリと生活リハビリの介入変化に対する効果検証
富岡 真光（愛媛県 松山リハビリテーション病院 理学療法士）

- 18-2 認知機能低下の有無が POC リハビリテーション介入による ADL の改善に及ぼす影響
西島 健太郎（東京都 世田谷記念病院 理学療法士）
- 18-3 入院におけるリハケアの効果と退院における転帰先の分析 ～ FIM の解析を通して～
有泉 涼太（北海道 定山溪病院 作業療法士）
- 18-4 地域包括ケア病棟入院患者における入院時の身体活動量が日常生活動作改善に与える影響
－ pilot study －
郷上 東（神奈川県 鶴巻温泉病院 理学療法士）
- 18-5 当院の地域包括ケア病棟における早期退院者の特徴 早期退院の関連因子の再検討
高橋 克弥（宮城県 石巻健育会病院 理学療法士）
- 18-6 地域包括ケア病棟入院患者に対するホームワークの定着を目指した援助：症例報告
水戸部 勇政（千葉県 印西総合病院 理学療法士）
- 18-7 人工呼吸器から離脱し在宅復帰した超高齢者の症例
小池 淳（東京都 相武病院 理学療法士）
- 18-8 当院における呼吸器チームの介入効果および今後の課題 第2報
茶木 知子（大阪府 泉佐野優人会病院 理学療法士）
- 18-9 療養病棟における生活リハへの取り組みを通じたチームアプローチの課題と展望
高畑 朱理（東京都 みなみ野病院 理学療法士）
- 18-10 長期療養患者の体組成に関する調査
伊藤 由美子（山口県 周南リハビリテーション病院 作業療法士）
- 18-11 残存機能の共通認識へ向けての取り組み ～アンケート結果からみえた現状と課題～
尾関 昭宏（岐阜県 白川病院 理学療法士）
- 18-12 当院に入院している患者の「移乗動作」における BI と FIM の比較について
及川 祐貴（埼玉県 富家病院 作業療法士）
- 18-13 療養病床における疾患別リハビリテーションと離床活動の効果
樋笠 重和（兵庫県 大原病院 理学療法士）
- 18-14 専門職種からなる「活動支援科」の新設
小路 英俊（北海道 札幌西円山病院 作業療法士）
- 18-15 せん妄に対するリハビリテーションスタッフの関わり方
三浦 秀展（兵庫県 南淡路病院 理学療法士）
- 18-16 介護医療院におけるリハビリテーションの効果 一入所前後の変化から一
石川 朝子（北海道 札幌西円山病院 作業療法士）
- 18-17 介護医療院における高齢者への平行棒トレーニング（HBT）による自覚的運動強度と運動に対する満足度の実態
田中 恒介（鹿児島県 博悠会温泉病院 理学療法士）
- 18-18 ケア業務に対する介護医療院・医療病棟・リハ専門職別アンケートのテキストマイニング分析
田口 光（鹿児島県 博悠会温泉病院 理学療法士）

18-19 介護医療院における生活支援と ST の役割 ～ターミナル期食支援の一症例を通して～

千葉 郁未（北海道 介護医療院にしまるポッケ 言語聴覚士）

18-20 介護医療院における作業療法士主導のクラブ活動の実践

井手上 奈穂（鹿児島県 加治木温泉病院 作業療法士）

19 通所リハ／訪問リハ／訪問看護

19-1 当院通所リハビリテーションにおける利用者の転倒に関する調査

吉田 拓人（徳島県 徳島平成病院 理学療法士）

19-2 通所リハビリテーション利用者におけるサルコペニア及びダイナペニアの有病率と転倒スコアとの関係性

秋田 透（兵庫県 平成病院 理学療法士）

19-3 新型コロナウイルス肺炎流行中の通所サービス利用自粛が利用者の転倒に及ぼす影響

吉本 達人（大阪府 豊中平成病院 理学療法士）

19-4 促通反復療法と物理療法の併用（2回／週、デイケア）が有効だった中等度上肢麻痺の一例

田島 志穂（群馬県 介護老人保健施設たまむら 作業療法士）

19-5 通所リハビリテーションにおけるいきいき百歳体操が身体機能に及ぼす効果

濱中 美歩（広島県 シムラ病院 理学療法士）

19-6 通所リハビリテーションにおける、長期休みの利用者への対応について

野長瀬 高志（東京都 永生病院介護サービススマイル永生 理学療法士）

19-7 通所リハビリテーションを感染症予防の為に利用休止した方に対する活動の再開に向けた関わり

牧田 晨慈（埼玉県 霞ヶ関南病院 作業療法士）

19-8 新型コロナウイルス感染予防による通所リハの一時休業から生じた利用者の身体機能の変化から考える

笹 慎吾（滋賀県 琵琶湖中央病院 作業療法士）

19-9 腰痛を繰り返している患者に退院後訪問及び訪問リハビリテーションを行い在宅生活の継続を可能とした症例

佐藤 麗奈（神奈川県 竹山病院 理学療法士）

19-10 医療機関における在宅カンファレンスでの取り組み

～訪問リハビリ実務者のカンファレンス参加の視点から～

松尾 一城（福岡県 筑後市立病院 理学療法士）

19-11 「また作業所に行きたい！」事業所の垣根を超えた連携の重要性

小原 隆裕（東京都 大内病院 作業療法士）

19-12 当事業所における訪問リハビリテーション ～データから見てきた終了者の傾向について～

千葉 瑛斗（北海道 定山溪病院 言語聴覚士）

- 19-13 最期まで本人の希望を叶える為にセラピストができること ～終末期に入浴支援を行った事例～
西 祥吾（福岡県 ゆのそピア 理学療法士）

20 スタッフ育成・職員教育／経営

- 20-1 重度認知症患者様に対する看護師と介護士の陰性感情に対する対処方法の違い
高山 達也（東京都 大内病院 看護師）
- 20-2 当院における腰痛予防への取り組み ～腰痛予防対策チームを発足させて～
加藤 真弘（愛媛県 松山リハビリテーション病院 作業療法士）
- 20-3 当院リハビリテーション科スタッフの目標設定における面接評価の重要度調査
高橋 果也（兵庫県 神戸平成病院 作業療法士）
- 20-4 当院就職検討者において実習が及ぼす影響の調査報告 ～実習指導方法の再考をふまえて～
大谷 文美（奈良県 橿原リハビリテーション病院 理学療法士）
- 20-5 スーパー戦隊！！ リハビリ感染ジャー
佐藤 廉（鹿児島県 国分中央病院 理学療法士）
- 20-6 2人体制でのプリセプターシップの効果と課題
小芝 真梨子（埼玉県 霞ヶ関南病院 看護師）
- 20-7 全職種共通クリニカルラダーと自己教育力との関連 ～レベルⅢを含めた追跡調査～
北島 未来（福岡県 高良台リハビリテーション病院 看護師）
- 20-8 回復期リハ病棟におけるセラピストのグループ制導入について
－患者理解を深め、教育の充実を図る取り組み－
大槻 昌広（大阪府 千里リハビリテーション病院 作業療法士）
- 20-9 電子カルテ更新とデータ提出加算算定の両立
杉山 智子（福岡県 高良台リハビリテーション病院 事務職）
- 20-10 健康経営優良法人（大規模法人部門）の認定取得
井上 久子（福岡県 高良台リハビリテーション病院 看護師）
- 20-11 医療・介護連携を目指した電子カルテ導入報告
青木 稔典（福岡県 高良台リハビリテーション病院 事務職）